

新型コロナウイルスに関するミニ知識

令和2年4月12日
名東鯨友会 三輪治敬

信頼できる友人から、ジョンズ・ホプキンス大学の感染症教授が発信された情報の日本語訳を入手しました。参考にしてください。

- ウィルスは生物ではなく、何層もの脂質（脂肪）でできた保護膜に覆われたたんぱく質分子（DNA）です。このウィルスが眼・鼻または口の粘膜の細胞に付着すると、突然遺伝コードが変質し、倍々方式で増え侵略します。
- ウィルスは生物ではなくたんぱく質分子であるため、殺すことはできませんが、自然に崩壊（減衰）します。ウィルスが崩壊する時間は、温度、湿度、どこ（何）に付着したかにより違います。
- 本来のウィルスはとても壊れやすいのですが、脂質でできた何層もの幕に覆われていることが問題で、この脂質の保護膜を取り除く必要が出てきます。脂質の保護膜を破壊することができる石鹼や洗浄剤は有効（泡立ててこすり破壊）な訳です。破壊するためには石鹼をたっぷり泡立てて20秒以上こする必要があります。保護膜を破壊することによりウィルスたんぱく質は自然に減衰し崩壊していきます。
- 熱は脂質を溶かします……25度以上の水で手や衣服、その他を洗うことが有効な理由となります。
- アルコールとアルコールを65%以上含むものは脂質を分解します……特にウィルスの外側のたんぱく質の層を分解します。
- 漂白剤（塩素）1対水5の割合でプロテイン（タンパク質）を破壊します……過酸化水素はウィルスたんぱく質を破壊します。しかし純過酸化水素水を使用する必要があり、皮膚を傷つける可能性があることに注意が必要です。
- 殺菌剤、抗生物質は役に立ちません……ウィルスはバクテリアなどの生物ではないので抗生物質で殺すことはできません。
- 服やシーツ。布などを振ってはいけません（使用、未使用にかかわらず）……表面に張り付いた状態では不活性なので、勝手に時間がたてば分解するからです。しかしこれを振ったりハタキを使用すると、最大3時間空気中にウィルスが浮遊し鼻などに付着してしまいます。
生地：3時間 銅、木：4時間 段ボール：24時間 金属：42時間 プラスチック：72時間
- ウィルスは冷たい空気、寒い空間や家や車などエアコンのある場所では安定した状態で残存します。また湿気と暗さはウィルスの残存を促します。従って、逆に乾燥した暖かい、明るい環境は勢いを墜落させます。
- 紫外線ライトや光線はウィルスタンパク質を破壊します。たとえば使用済みのマスクの殺菌には紫外線ライト（UVlight）を使用すると完璧です。但し、肌のコラーゲン（これもプロテイン）も破壊するので注意してください。

次ページに続く

- ウイルスは健康な肌を通り抜けることはできません。
- 酢（酢酸）は脂質の保護膜を破壊できないので有効ではありません。
- スピリッツ、ウォッカも役にたちません。強いウォッカでもアルコール度数は40%です。ウイルスを破壊するには65%以上のアルコール度数が必要です。
- アルコール65%以上のリステリンは役立ちます。
- より狭く限られたスペースではウイルスも集中しているかもしれません。広い場所で喚起がよければウイルスも少なくなります。
- 粘膜を触ったり、食べ物、鍵、ドアノブ、スイッチ、リモコン、携帯電話、時計、パソコン、机、テレビ、トイレ等を触った後には手を洗わなければなりません。
- 頻繁に手を洗うことになるので手の保湿をしてください。乾燥により生じる肌の小さなひび割れにウイルスが隠れ潜む可能性がありますから、厚めにハンドクリームを塗ることがお薦めです。
- 爪の中にウイルスが隠れるのを防ぐために爪を短くしておきましょう。

以上 ジョンズ・ホプキンス病院